

伊陸夢プランだより

第18号
令和5年1月26日発行
伊陸地区コミュニティ協議会

「伊陸夢プラン」の実行に向けて

伊陸地区コミュニティ協議会 会長 山本 達也
伊陸夢プラン支援協議会 会長 西川 義彦

新しい年がスタートいたしました。皆様には健やかに新春を迎えられたこととお喜び申し上げます。卯年は、東洋の「十干十二支」の考え方では「癸卯」（みずのとう）の年で、「厳しい冬が去り春の兆しが訪れる」「これまでの努力が実り芽吹き始める」年と言われています。皆様にとっても伊陸地区にとっても、様々な事へ挑戦できるようになり「うさぎの上り坂」のような1年となりますように、心よりお祈り申し上げます。

さて、昨年12月18日（日）に開催された「伊陸フェスティバル 新鮮市場」におきましては、多くの方にご来場いただき大いに盛り上がりました。8団体の出店に加え、5団体がフリーマーケットに参加され、新鮮野菜や加工品・日用雑貨、飲食など多種多様な販売物に、来場された皆様は大変満足されていました。また、出店団体の皆さまのご厚意により2回の「餅まき」を実施することができました。「地域を盛り上げたい」という皆様の心意気に励まされ勇気づけられました。この場を借りて感謝申し上げます。ありがとうございました。そして、これからも地域一丸となって、伊陸地区を盛り上げていきたいと思っております。今後とも、ご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



※例年この時期に開催しております「キャベツ祭り」につきましては新型コロナウイルスの感染が拡大している事を受け、ウエストいかちさんより中止の申し出がありました。

楽しみにしておられた皆様、大変申し訳ございません。



🚒 1月28日(水)、「柳井市消防団年末特別警戒」が実施されました。これに伴い「柳井市消防団伊陸分団」では、午後8時～午後11時まで、3部39名の消防団員が5台の消防車で、伊陸地区内の見回りをしました。以前は人数を分けて3日間行われていた「夜警」は、1日に集中して行われるようになりましたが、新型コロナウイルス感染が始まってからも地域を守る灯を消すことなく続けられています。こうした活動が、安心・安全な地域を作る意識の向上へ繋がっていく事と信じております。 🚒 🚒 🚒 🚒

地区別自主防災組織設立状況

地区名	自治会数 A	自主防災組織数	設立自治会数 B	割合(B/A)
大畠	39	10	10	25.6%
柳井	82	19	19	23.2%
新庄	41	6	7	17.1%
余田	19	5	5	26.3%
伊保庄	42	3	3	7.1%
阿月	18	10	10	55.6%
日積	33	10	17	51.5%
伊陸	22	4	4	18.2%

「自主防災組織」とは、地域の住民が災害から地域を守るための組織です。設立のメリットとしては、1. 迅速な避難を可能にする 2. 的確な安否が確認できる 3. 避難所の運営が円滑になる などありますが災害時だけでなく日頃から、地域の災害危険個所の把握や防災知識の普及活動、そして顔見知りの関係を築いていく事はとても重要な事です。

大規模な災害が発生した場合、消防署などの防災機関だけでは迅速かつ十分な対応はできません。住民同士の協力によって被害は最小限に食い止める事ができます。地域ぐるみで防災に取り組み、災害発生時の役割分担などの体制を整えておくと共に、避難行動要支援者や避難経路などの情報を共有化することで、一人でも多くの命を守ることができます。

伊陸地区での「自主防災組織」設立状況は、残念ながら十分とはいえません。住民の防災の意思向上に努め、安心して暮らせる地域を目指して参りたいと考えております。

北畑自治会よりご案内

自主防災について研修会を下記の通り行います。柳井市危機管理課の方をお招きして、1時間程度の研修を予定しています。北畑自治会以外の方のご参加も歓迎いたします。

日時 令和5年2月19日(日) 午前9時から

会場 伊陸公民館 会議室

内容 (1) 自主防災について(研修・質疑)

※「北畑自治会」は、伊陸地区で3例目に自主防災組織を設立されました。柳井市危機管理課による研修は、「自主防災組織設立」のヒントにもなるかもしれません。ぜひ、ご参加くださいますよう、お願い申し上げます。